自らつくる地域づくり

ーふるさと元気計画ー

壬生沢区

豊丘十景　壬生沢不動滝

自らつくる壬生沢地域づくり計画

■はじめに

壬生沢地区は、豊丘村南部の山間地に位置する約60戸、230人余りの集落です。壬生沢川には、豊丘十景にも選ばれた不動滝があり、蛍の生息地や、多くの山菜が収穫できる里山など、ゆたかな自然に恵まれています。また、先人から継承した区有林など、山間地ゆえの立地条件を活かし農林業によって発展してきました。

今後も農林業の振興、里山の整備、道路改良を進め、元気で明るく暮らしやすい地域づくりに取り組み、定住人口の増加を図ります。また、子供から高齢者まで区民全員が明るく暮らしやすい暖かな環境整備とは何かを常に考え、検討し、安心して生活できる地域を目指します。

■計画策定の理念

「自らの地域は自らの手で」を合言葉に、区民総参加で計画づくりに携わり、多くの貴重な意見・アイディアが寄せられました。このことは、区民一人ひとりが、自らの地域を真剣に見つめ、少しでも良くしていこうとする強い気持ちの現れであり、地域の課題を洗い出し、ふるさとの良さを再認識したことは意義深いものがあります。

新たな地域づくりに向けて素材がたくさんあり、それに、区民の英知と勇気、夢を融合させれば、必ずや力強い、壬生沢にふさわしい地区計画が完成すると確信するものです。

壬生沢区民会館と壬生沢諏訪神社

第１　夢と希望に満ちた地域づくり

現状と課題

地区内には、他に自慢できて、誇れる景勝地、文化財、食文化が存在しますが、十分な啓発や掘り起こしができないことから、地域だけのものだったり、過去の繁栄が衰退してしまったりしている現状があります。
これらに息吹を与え、地域に活力を生み出すための資源として、いかに活用するかが、これからの地区の課題です。

不動滝は、豊丘十景のひとつに数えられ、村の観光資源として、また、幕末の女流勤王家松尾多勢子の歌碑が奉られていることで、歴史的にも知られ、昔から地域の憩いの場です。この周囲には、成田不動や明神石、蚕玉様公園　平家蛍生息地がありこれを遊歩道で結んだり、親水公園として魚道、キャンプ場などを組み込んだ一体的な整備を進めることで、地域の憩いの場所としての機能を一層高め、交流人口の増大に繋げる取り組みを行ないます。

成田不動

地域産業拠点となる共同作業所の建設をめざし、「田舎の香りが売り」を前面に出し、昔からのおやきや漬物の販売、山菜の栽培を普及させ、出荷することにより、女性が元気で、地域で活き活きと生きるための施策として、区をあげて取り組みます。

このほか、区が抱える課題に向け、多様な振興策と結びつけることにより、区民が夢を持ち、地域経済の活性化と定住人口の確保増大を図り、元気な地域をめざします。

明神石

■具体的な施策

①不動滝・成田不動をひとつの観光資源として、ふたつを結ぶ遊歩道を整備します。(遊歩道には橋を架ける構想も盛り込む) 併せて、釣堀・キャンプ場・魚道の整備を行い、親水公園として家族、子供たちが遊び、多くの区民、観光客が訪れる場所として一体的な整備を行います。

②「壬生沢南トライアングル構想」として、明神石・蚕玉様公園・平家蛍生息地の３箇所を一体的にミニ公園として整備し、その中にマレットゴルフ場を造成し、併せて、災害に備えてヘリポートを設置します。

③共同作業所を設置し、地域特産品の開発・生産の場として、おやき・漬物をインターネットやふるさと便で販売します。併せて、傾斜地・遊休地にワラビなど山菜を栽培して販売し共同作業所を拠点とする販売網と地域元気産業 (地区協働) の確立を図ります。

④住宅団地を造成し、地域人口の流出を抑え、新たな入居者の受入に対処します。また、リニア新幹線の開通を見据えて、人口増にも繋がる別荘地の造成を行います。

⑤出産祝い金制度を創設して、区民の総意として祝福します。

⑥遊休農地等に太陽光発電システムを導入し、地代、売電収入で区財政を潤します。

蛍の生息地

第２　明るく暮らしやすい地域づくり

現状と課題

自分の住む地域に誇りと愛着を持ちながらも、過疎化の進展や遠距離通勤・通学の道路環境、除雪・道作りなどの出労の過剰負担は、中山間地の持つハンデキャップとして区民に重くのしかかっています。これらの改善や自らの地域を住みやすくする施策を見出すための、研究委員会の立ち上げやアンケート調査の実施は急務であり、明るく暮らしやすい地域づくりに向けて、まず第一に取り組まなければなりません。

■具体的な施策

①「平成の壬生沢行政地区の再編成」について検討する研究委員会を立ち上げます。

②「暮らしやすい地域づくり」に向けたアンケート調査を実施し、この中で、区を去られた方、新たに入られた方、戻られた方も対象として、永く暮らすためにはどうしたら良いかを問いけ、今後の地域づくりに役立てます。

③街路灯の増設を行い、夜間の防犯を強化し地域を明るくします。

第３　地区環境整備で元気な地域づくり

現状と課題

地区内には、手入れの行き届いた区有林や区民に親しまれている諏訪神社、区民会館があり、地域の誇りとして、伝統文化、コミュニティーの拠点として、大きな存在感を示しています。これらに対して新たな環境整備や、手を加えることで、一層の価値観が生まれ、地域の活力を生み出すことにつながります。

一方で、空家周辺の荒廃が進み、遊休荒廃地が点在することで地域の景観を損ねている現状です。関係地主への理解を求めて、環境美化に取り組むことは区民の責務であり早々に取り組まなければならない課題です。

壬生沢主要路線における日影地や長坂地籍の凍結は、区民を悩ませ、通行に支障をきたしています。解消に向けての環境整備はもとより、沿線の植栽や、里山整備を行うことで、道路環境の改善と地域景観が保たれ、安全とゆとりを生みだします。

■具体的な施策

①主要道路沿線の環境整備として、日影地解消と併せて、里山の整備を行い、景観形成の向上を図ります。

②先人から受け継いだ区有林に、道路を開設し、区民や一般に広く開放することで、改めて地域の誇りと伝承の意識を共有すると共に、山林整備と、観光資源としての活用を模索します。

壬生沢区有林

壬生沢諏訪神社

③地域のコミュニティーの拠点である区民会館のバリアフリー化とトイレを洋式に改装します。

④伝統文化継承の地、諏訪神社周辺の環境美化を関係地主の理解により実施します。またお年寄りから子供までだれでも登れる参道の整備を行います。

⑤地区内にある空家周辺の環境美化を区民の総意で取り組み、地域の景観保持に努めます。

⑥浅間山公園に水道・トイレ・東屋の整備を行い、区民の憩いの場とします。

⑦地区内で操業中の企業と相互支援と連携で地区発展のための施策を見出します。

⑧有害鳥獣対策として、地区全体の農作物を守る大規模な柵を、近隣行政区と連携を取りながら設置します。

浅間山公園

⑨地域周辺の森林の荒廃地整備・耕作放棄地整備と併せて、景観形成と区民に親しまれる里山とするために整備します。

⑩壬生沢線長坂地籍の道路難所整備を「平成の大改良」として区をあげて取り組みます。

改良が待たれる長坂地籍

■各種団体から出された意見

1. 天龍川に高森町と豊丘村伴野工業団地を結ぶ橋を架ける。
2. 区の道つくり作業の軽減……高齢化するので道つくりが大変になる。
   法面はモルタル吹きつけ、他はブロック積みなど構造物で整備する。
3. 住宅団地の造成……転出防止と新規加入。
4. 猪、鹿対策……上段へしっかりとした柵を作る。有害鳥獣被害防止柵設置事業有り。
5. 山間地住民の税金軽減。
   山間地で暮らすと日常生活にお金がかかる。燃料代、住民税、固定資産税他。
6. 山間地と下段との不公平解消。
   中学生の通学が大変。喬木村では中学校が中段にある。学校があれば住宅ができる。
   施設の分散、機能の分散……一極集中をなくす。
7. 村内に公衆便所がなく不便である。
8. 村内に公衆有線を設置して欲しい。
9. 虻川大橋の欄干に工夫をして欲しい。
10. 観光施設に看板を設置して欲しい。
11. 壬生沢線、壬生邦和さん宅下のカーブ改良。
12. 冬の凍結道路の解消、融雪パイプの設置、塩化カルシウム自動散布機の設置。
13. 長坂のカーブ、特に冬場に凍結するので平成の大改良。
14. 壬生沢線、小園地籍に信号機の設置。
15. 村全体を通る観光コースつくり。
16. 燃えるゴミの収集場所はネットをかけただけのものでは、狸などがもぐりこむので箱に網をつけた物にしてほしい。
17. 壬生沢線小園地籍の街路灯が支障木で隠れて暗いところがある。
18. １人暮らしの方が増えるのでその対応を考える。食事を提供してもらえる施設、ボランティアを増やしてもらう。グループホームをつくりみんなで暮らしたい。
19. 福祉が充実していれば山間地でも暮らしていけるし、暮らしたいと思う。
20. 村民の村外転出防止、住宅、集合住宅の建設。
    下條村が村民サービスに力を入れている。アパート代 36,800 円他。
21. 村長、村職員、議員の意識改革……職員でありながら村外に住んでいる。職員は率先して村内に……村長さんはじめ意識改革と指導が必要。
22. 壬生沢東地区で水道の圧が低い。
23. 区民会館に足の悪い人でも座れる正座イスが欲しい。……コミュニティ事業に申請。
24. 区民会館、南側の階段の改良。
25. 神社参道について、高齢者・子供の登れる道、参道の整備、登り易い参道。

■計画策定の経過

壬生沢地区では、自治会、高齢者クラブ、青壮年部、各種団体の皆さんに地区計画策定委員をお願いし、6月から検討を始めました。各団体の話し合いには、多くの区民の皆さんがご参加くださり、貴重なご意見、ご提言をいただきました。その意見を集約し地区計画を策定いたしました。

期　　日	内　　容
2009年6月22日	第1回　地区計画策定委員会
7月11日	第2回　地区計画策定委員会
7月16日	第3回　地区計画策定委員会（各団体、グループ代表者会）
7月~8月	団体、グループによる話し合い
9月10日	第4回　地区計画策定委員会
10月28日	第5回　地区計画策定委員会（各団体、グループ代表者会）
11月　5日	第6回　地区計画策定委員会
11月21日	中間総会で中間報告
12月16日	第7回　地区計画策定委員会（各団体、グループ代表者会）
2010年1月14日	第8回　地区計画策定委員会
2月18日	第9回　地区計画策定委員会
2月28日	壬生沢区　総会

■壬生沢区地域づくり委員会（計画策定委員）

区委員

区長	壬生	一昭
副区長	三石	勝男
会計	壬生	敏雄
委員	松下	広一
	壬生	元祝
	壬生	慶治
	横前	正義
	壬生	位利
	壬生	善廣
自治会長	壬生	隆一（東）
	壬生	昇（西）
	壬生	克美（南）
	三石	兼勇（北）

各団体代表

地区婦人部	三石	節子
	壬生	玲子
	壬生	朱美
	壬生	さとみ
愛生会	壬生	春人
壬生沢クラブ	篠田	恒治
消防団	三石	健治
	三石	邦崇
	壬生	竜洋
	壬生	要士
若妻会	横前	久美
	壬生	美幸
育成会	壬生	三重子
青壮年部	壬生	猛雄
	壬生	和宏

役場職員地区担当／遠山　勉・片桐章久・壬生照子

女性団体の話し合い風景

平成22年2月完成（2010.2.200）

壬生沢諏訪神社鳥居

印刷／燦プランニング（堀本明一）
豊丘村河野 4468-35
TEL.35-6267